

公立大学法人秋田県立大学 教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所 属 システム科学技術学部 経営システム工学科 戦略プランニング講座
3. 専門分野 情報学に関連するあらゆる分野。例えば、情報通信ネットワーク、データサイエンス、自然言語処理などを専門分野とする。また、地域社会の産業振興に貢献することを目的として、様々な情報技術を社会実装するシステムデザインも対象分野とする。
4. 担当授業科目 (学 部) プログラミングⅠ、Ⅱ、応用情報処理、ビジネスモデル論、データベースの中から担当可能な関連科目の講義・演習補助と、セミナー、卒業論文指導の補助等
(大学院) 該当分野の大学院講義、セミナー、修士、博士論文指導の補助等
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和3年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません。)
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書(本学所定の様式1による。*)
(2) 研究業績書(本学所定の様式2による。*) 研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3) 主要論文3編(コピー可)
(4) これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1000字程度)
(5) 教育に対する抱負(1000字程度)
(6) 研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注 *印: 履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和2年11月30日(月) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1) 提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 水野 衛
※封筒の表に「経営システム工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却致しません。
(2) 問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 経営システム工学科長 朴 元熙
TEL: 0184-27-2173 (ダイヤルイン) E-mail: w-park@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(女性活躍推進行動計画: <https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/joseikatsuyaku.pdf>)

(子育て支援等行動計画: <https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/kosodate.pdf>)

今回の公募で求める人物像

経営システム工学科は「鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で地域発のイノベーションを実現」という教育研究理念のもとで、経営を取り巻く様々な環境条件、および組織マネジメントに対して、工学的手法を適用し、これからの企業戦略イノベーション実現に貢献できる人材育成を目指している。経営システム工学科 戦略プランニング講座、先端ビジネスマネジメントグループでは、情報通信技術を用いた地域産業の振興、創出を念頭に置いた応用研究を進めている。このような背景から今回の応募では、教育、研究および地域貢献において特に以下のような人材を求める。

1. 研究

経営システム工学科 戦略プランニング講座 先端ビジネスマネジメント研究グループは、地域特徴を活かした情報通信技術の社会実装研究を推進している。具体的には、

- ① 地域の様々な組織、およびインターネットに蓄積される膨大なデータを収集・解析し、特に地域産業に貢献するデータ工学技術の応用
- ② IoTをはじめとする情報通信ネットワークの様々な地域産業への応用

など、地域社会での新たなビジネス創出に貢献する研究テーマを設定して推進している。こうした応用研究推進には、個々の要素技術への専門性に加えて、地域社会においてビジネス的な観点でどのように応用できるかについて、地域社会に深くコミットしながら課題発掘できるコミュニケーション能力が不可欠になる。以上のような認識から情報通信技術を基礎とした地域 ICT ビジネスに応用する研究を専門領域とする。

2. 教育

情報通信技術の進化は近年特に著しく、またカバーすべき範囲もますます広範になりつつある。こうした技術を駆使して様々な社会実装に応用できる人材は、特に地域において顕著に不足し始めており、技術力を有する地域 ICT ビジネス人材の輩出は地方大学に対する社会的要請のひとつとなっている。しかし、巨大な研究領域となりつつある情報通信分野において新しい社会的要請に最低限応えられる人材育成にはもはや学部 4 年間の教育では時間的に十分とは言えず、大学院教育を念頭に置いた高度な専門教育が必要である。こうした時代的要請に応えて、情報通信技術基礎力を身につけ、それらを応用して地域ビジネスプロトタイプを実装し、社会に問いかけられる ICT ビジネス人材の養成を目指す。

3. 地域貢献

地域特性を活かした情報通信技術の研究および社会実装を担う。具体的には、過去から膨大に蓄積された地域データ等の解析にもとづく新しいサービスの社会実装、および IoT を始めとする情報ネットワーク技術にもとづく遠隔操作、遠隔診断、遠隔作業等の社会実装を通じて、地域社会、地域産業に貢献する。

4. その他

当該研究分野に対する専門性のみならず、他学部、自治体、民間企業など多様な組織と連携しながら研究プロジェクトを推進できるコミュニケーション能力を重視する。また同僚とも協調し、学科運営業務に労苦をいとわない人材を求める。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

経営システム工学科 大講座制グループ構成

別紙2

2020.4

基本方針: 経営システム工学科は3大講座制とし、鳥瞰的視野と数理的かつ工学的な経営で地域発のイノベーションの実現に関する教育と研究を推進する。

戦略プランニング講座

●経営企画研究グループ

(企業経営の基幹となるシステムの教育研究)
コストマネジメント、商品企画・情報システム、企画、組織管理、交渉、マーケティング

●先端ビジネスマネジメント研究グループ

(IoT技術をコアに1,2,3次産業をつないだビジネスモデルの構築に関する教育研究)
IoT、オープンソースビジネスモデリング、サプライチェーン、知識ベースマネジメント、協調・分散データマネジメント

数理アナリシス講座

●計画数理研究グループ

(数学、統計学による解析やモデル化および最適化と意思決定に関する教育研究)
計画数学、応用統計、応用数学、数理統計、意思決定、シミュレーション

●経営データ分析研究グループ

(統計・数量分析による経営および経済活動に関する教育研究)
経営学・統計分析、消費者分析、ビッグデータの次元圧縮・ノイズフィルタリング、状態推定

持続可能マネジメント講座

●社会環境シミュレーション研究グループ

(サステナブルな事業経営・地域社会を実現するための中長期的環境分析・予測に関する教育研究)

人工知能社会、社会環境モデリング、経済時系列・市場分析、環境経済、OR、都市解析

●環境マネジメント研究グループ

(持続可能な社会の実現に向けて、必要な概念の教育、技術研究、実装についての教育研究)

環境システム、環境リスク、環境プロセス、資源循環工学、環境分析学、資源循環システム構築・実証、環境負荷低減技術、LCA